

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
全般	全般	画面	1	画面のサイズは任意に変更でき、画面サイズに準拠して、画面内の入力項目のサイズも自動的に変更できること		
			2	データ登録を行う画面において必須入力となる項目に任意の背景色・文字色を設定できること		
			3	全画面において入力カーソルがある項目に任意の背景色・文字色を設定できること		
			4	使用する画面のフォントは任意に設定できること		
			5	全画面にログインIDと処理端末IDが表示できること		
		入力	6	処理選択・コード値選択がマウス及びファンクションキーで操作できること		
			7	TABキー・Enterキー・上下キーにより各入力項目間のカーソルを移動できること		
			8	ボタンが大きくタッチパネル式であればディスプレイを指でタッチすることによって無理なく操作できること		
			9	バーコードリーダによる読み込み時、必ず端末からも確認音が出る（端末で読み込めていない際はエラー音を出せること）		
			10	貸出画面や返却画面の資料明細で、マウスの右クリックによりローカル情報、タイトル情報の修正画面が起動するなどカウンターでの資料修正の省力化が図れること		
			11	データ登録画面において、データ入力中に登録処理を行わないまま、誤って「終了」ボタンをクリックしたとき、確認メッセージが表示できること		
		画面展開	12	貸出・返却等、各関連業務内の処理画面の個々の展開は、メニュー画面に戻らなくても可能なこと		
			13	フンタッチで起動する別画面は任意に設定できること（4つ以上）		
			14	画面展開の際、不要な確認については求めることなく表示すること		
			15	画面の遷移状況を表示し、その遷移過程にある画面には、1クリックで戻ることができること 例）①貸出処理→②利用者検索画面→③利用者登録画面→④利用者貸出一覧画面の順で遷移したとき、①②③どの画面にも戻ることができること		
		業務メニュー	16	業務メニューの構成は、館及び端末毎に変更できること		
			17	ログイン情報画面での端末IDの変更可否を制御できること		
			18	基本業務の起動はファンクションキーを押すことで可能なこと		
			19	業務メニューはボタンの配置場所、配置の順番、空きスペースなども各業務毎に設定可能なこと		
		統計処理	20	貸出や返却の統計データについては、リアルタイムにサーバーのデータベースを更新し、日時処理等特別な処理を必要としないこと		
			21	各種統計結果は、CSV形式での出力が可能なこと		
			22	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること		
			23	図書館統計に記載している統計情報（分類別蔵書冊数（類目別、一般書／児童書別）利用状況（一般／児童別の登録者数、延べ利用者数、地区別登録者数）年度の資料貸出点数（一般書／児童書別、月別））を出力できること		
			24	利用（貸出・返却・予約）統計表は、日報（時間帯別）・月報（日別）・年報（月別）が出力できること		
		レシートプリンタ	25	貸出票、予約者連絡票、回送指示票等のレシートを任意の専用プリンタにより出力できること		
			26	レシートの出力項目等を端末毎に設定できること		
		帳票	27	帳票システムとして、本図書館の仕様に合わせて背ラベル、バーコード等の印字が可能なこと		
			28	マイナンバーカードを図書利用券として活用でき、非接触型のICカードリーダにかざすことで、簡単に図書を借りることができること		
		利用者カード	29	マイナンバーカード読取時に利用者証明用電子証明書の有効期限切れのチェックをすることも可能なこと		
			30	処理の起動、検索・データ抽出の実行、プリンタ抽出の実行、テキスト出力の実行、データ更新の実行、パラメータの更新、システムコードの更新をログとして保存すること		
		操作ログ	31	保存したログは以下の条件を指定して抽出することができ、画面又は帳票に出力することができること 抽出条件：処理日範囲、ログインID、処理区分、処理端末番号、プログラムID、更新利用者番号範囲		
			32	貸出・返却・検索等の画面は、常時Windows画面に表示でき、その切替えがマウス・キーボードにより可能なこと		
カウンター業務	全般	画面表示	33	以下の一覧については、表示項目、位置、列幅を任意に設定できること また、1明細に複数行を表示する設定も行えること ・貸出処理画面における貸出中資料の一覧 ・返却処理画面における返却済資料の一覧 ・返却処理画面における貸出中資料の一覧 ・利用者貸出一覧画面における貸出中資料の一覧 ・利用者予約一覧画面における予約中資料の一覧（1利用者に対する予約タイトルの一覧） ・利用者検索における、検索結果利用者情報の一覧 ・資料検索における検索結果書誌情報の一覧 ・資料検索におけるローカル情報の一覧		
			34	利用者に対して複数のコメント通知機能を持ち、忘れ物・落し物・その他の案内等を定型文・自由文で随時入れられること		
			35	情報非表示設定時でもフンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名／資料名が確認できること		
			36	資料に対して、複数のコメントを通知する機能を持っていること（付録、汚破損状況等を定型文・自由文で随時入れられること）		
			37	資料情報及び利用者情報に付加するコメント（定型文、自由文）の数に制限がないこと		
			38	コメントの注意音は、貸出時のみ・返却時のみにコントロールできること		
			39	資料の定型コメントに重要度（大・中・通常）を設定でき、重要度毎に文字色・背景色が設定できること		
			40	利用者の定型コメントに重要度（大・中・通常）を設定でき、重要度毎に文字色・背景色が設定できること		
			41	資料情報及び利用者情報に付加されたコメント毎に登録日と登録館が確認できること		
		コメント	42	利用者番号と資料番号のバーコード読み込みで完了すること		
			43	個人・団体・相互等、いずれの貸出処理も同一画面で行えること		
			44	資料番号を読み込んだ時点で貸出確定し、データベースを更新すること		
			45	当日中に貸出処理をした資料の貸出取消ができること また、統計データは貸出がされなかったとみなして差し引かれること		
			46			
			47			
		貸出業務	貸出手順	48		
				49		
		貸出処理	貸出処理	50		
				51		
		貸出業務	貸出手順	52		
				53		
		貸出処理	貸出処理	54		
				55		
		貸出業務	貸出手順	56		
				57		
		貸出処理	貸出処理	58		
				59		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
			46	未返却資料を貸出処理すると、自動的に返却処理すること また、チェック画面を表示させ返却後貸出を行う、返却のみ行う、処理を行わないを状況に応じた職員判断により処理を行える設定もできること		
			47	不明資料を貸出処理すると、自動的に不明状態を解除し状態区分を貸出中に変更できること		
			48	資料種別（図書・雑誌・AV資料等）毎、利用者毎の貸出日数、延期日数、延期回数、種別毎の貸出点数、合計貸出点数が設定できること		
			49	貸出資料一覧から資料の返却と所蔵状態を不明状態（強制不明）への変更を同時にできること		
			50	予約していた資料を予約していた利用者に貸し出すと、予約データが消去されること また、予約していた利用者以外に貸し出したとき、警告の別ウィンドウが開き、続行や中止が選択できること		
			51	貸出処理時に表示される明細は自館又は自館グループに表示を限定することができること		
			52	利用者貸出一覧の画面にて、貸出館を「全館」「自館」「自館グループ」を切り替えて表示できること。初期値の値については設定で変更できること		
			53	利用者貸出一覧の画面にて、貸出一覧の表示は「貸出館・返却期限順」「貸出館・貸出開始日順」の設定が可能なこと		
			54	移動図書館等での使用のためログイン切替等を行わず、貸出画面において容易に貸出館・サービスポイントを指定変更して貸出を行えること		
			55	利用者の貸出上限チェック時に、「紛失申請済」「弁償手続き中」等の貸出資料を、貸出冊数としてカウントしないこと		
			56	弁償手続き中の資料に関しては貸出点数に含めないようにして、貸出を許可することが可能なこと		
			57	利用者区分（個人・団体）・資料種別・受入区分（購入・寄贈等）・受入期間の組み合わせに対して貸出可能か否かのチェックを行えること		
			58	相互貸借利用者に対して新着資料を貸出した際に貸出可能かのチェックが行えること		
		図書館カレンダー	59	図書館カレンダーの休館日を設定することで返却予定日を管理し、また貸出画面での随時変更も可能なこと		
			60	図書館カレンダーは館毎に設定できること		
			61	カレンダーに設定する休館日は、貸出日数に含める休館日と含めない休館日が設定できること		
		貸出期間設定	62	各館毎に貸出期限を設定できること		
			63	貸出画面から任意に利用延長を行え、貸出期限票の印刷を行えること		
			64	貸出中資料の貸出期間延長・継続を任意に設定できること（ただし、予約資料・相互貸借資料時は自動的にチェックし、延期の可否を判断でき、また、設定によっては延期不可とすることもできること）		
			65	貸出期間の変更が可能であり、その際にはキーボードからの入力のみならず一週間延長ボタンや、カレンダー画面表示からの選択の2種類が可能であり、入力の簡素化が実現されること		
		画面展開	66	貸出基本画面より貸出期限変更、利用者仮登録、利用者検索、貸出・予約一覧、利用者詳細情報へ展開できること		
			67	バーコードの読み込みにより、貸出画面／返却画面切替及び貸出・返却処理画面の起動が可能なこと		
			68	利用者氏名、電話番号、住所、生年月日等から利用者を検索した上で貸出処理へ展開できること		
			69	貸出資料の明細をダブルクリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌詳細、ローカル情報一覧）が表示ができること		
			70	貸出画面上で貸出中一覧を確認し、画面遷移することなく延滞資料を把握できること		
		表示情報のクリア	71	個人情報保護の観点から、画面上に「表示クリア」ボタンを配置し、随時押すことにより表示情報クリアができること		
			72	個人情報保護の観点から、貸出し処理が終わった時点でその利用者への情報はエンターキーによる画面のクリアができること		
		画面構成・表示	73	ファンクションキーで任意の処理画面を展開できること		
			74	利用者番号を読み込んだ時点で、利用者区分、資料種別毎の返却期限及び既貸出資料数、延滞資料数、延滞資料（他予約あり）数、督促資料数、予約数、催促済み予約数を表示すること		
			75	読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、また表示する項目（資料番号、資料名、貸出期限等）についても、項目や表示幅等が変更できること		
			76	貸出資料一覧表示時、資料種別が表示され、何を何点借りているか確認できること 未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は色別（文字色・背景色）による表示が可能なこと		
			77	個人情報保護の観点から、利用者氏名の表示／非表示を端末毎にあらかじめ設定でき、非表示設定時でも、利用者詳細情報画面に展開することで利用者氏名を確認できること		
			78	個人情報保護の観点から、貸出した資料名の表示／非表示をあらかじめ設定でき、たとえ非表示設定時でも、貸出情報参照により資料名を確認できること		
			79	貸出画面から利用者の予約一覧画面を開き、予約状況の確認、予約取消が行えること また、グループ予約、セット予約内容の確認、修正も行えること		
			80	利用者の予約一覧画面では、割当済みの予約と未割当の予約の色を任意に設定できること また、未割当の予約については、「自館貸出可」「返却待ち」「発注中」等の状態も色識別表示できること		
			81	貸出処理画面で、利用者の予約割当済資料が一覧で確認できること		
			82	貸出処理画面で、利用者の貸出中資料・予約中資料の一覧をワンタッチで表示できること		
			83	画面上に当日の貸出状況（点数・利用人数）をリアルタイムに準じて表示できること（表示する情報は、①その端末での状況、②全館での状況とすること）		
			84	利用者の貸出状況一覧表示における延滞等の資料状態を色別表示できること		
			85	貸出処理時は、操作員が利用者番号読み込みと資料番号読み込みとを見間違ふことのないよう、入力するフィールドの場所が変更になること また、資料番号フィールドで利用者番号を読み込んだ場合、利用者番号であることを判断して自動的に利用者番号フィールドに遷移し表示することができること（利用者番号と資料番号は互換で利用可能）		
			86	利用者の貸出詳細画面では、紛失登録・督促連絡記録を一括入力できること		
		レシート印刷	87	貸出処理後、利用者番号・利用者番号バーコード・利用者氏名・貸出資料・返却予定日・発行日・予約待人数・自由文等（端末毎に任意に設定可能）をレシートプリンタにより印刷できること また、「今回貸出のみ」「当日貸出」「利用者全貸出」「レシート未印字のみ」の印刷範囲指定が可能であること		
			88	代表返却期限日をレシート上段に印刷できること 代表返却日は、貸出明細の中で返却期限が最も早いもの、最も遅いものを設定により変更できること		
			89	貸出明細を資料名、資料番号の両方を印字できること		
			90	貸出明細印刷指示時に明細行が0件の場合「あなたが借りている資料はありません」等の固定文字列が印刷できること		
			91	貸出明細は再出力が可能であること 抽出条件として、全貸出中資料・当日貸出資料のみ・貸出日指定が選択できること		
			92	貸出明細を再出力する際、貸出明細の出力順を、貸出開始日順か返却期限日順か選択できること		
			93	レシートプリンタに出力する内容は、通常のプリンタへの出力も可能であること		
			94	貸出処理後、利用者番号・利用者氏名・タイトル・人名・出版社・貸出館・資料種別・分類・返却期限・督促回数・合計貸出点数・発行日・頁数をページプリンタにより印刷できること		
			95	利用者区分毎に返却期限票の出力形式をレシート形式、又はページプリンタ形式に設定できること		
		操作員通知	96	バーコード入力以外のフィールドにフォーカスがある場合に、バーコード読み込み時に分かりやすい警告音を鳴らせること		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
			97	通知は警告音・音声でも行え、端末毎に設定できること		
			98	貸出画面では、各種確認については確認する業務の性質上、必ずサブウィンドウで表示し、確認漏れのないようにすること		
			99	延滞資料有り・貸出点数オーバー・督促利用者・予約利用者・除籍利用者・コメント有り等を自動的に音やメッセージで操作員に通知できること		
			100	その際、ウィンドウによる通知も任意に行えること		
		利用者カード	101	コメント付き資料、除籍資料・不明資料・予約資料・持出禁止資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること		
			102	バーコードを印刷した利用者カード、マイナナンバーカードで貸出が可能なこと		
			103	マイナナンバーカードの図書館利用カード化は、図書館システム上で紐づけ管理を行わないマイキーアプリ方式及び図書館システム上で紐づけ管理を行えるPPID方式のいずれにも対応すること		
		オフライン対応	104	マイナナンバーカードによる利用者認証時には利用者証明用のPINコード入力を求めることもできること		
			104	ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる貸出処理ができること		
		その他	105	利用者に対するコメントチェックの際に、表示するコメントによってはチェックしないことが可能なこと		
	返却業務	返却手順	106	返却する資料の資料番号を読み込むだけで返却を確定すること		
		返却処理	107	資料番号を読み込んだ時点でデータベースを更新し、完了処理等が不要なこと		
			108	不明・紛失資料の返却処理を行うと、自動的に状態が貸出可能となるようにすること		
			109	連続で返却するため通知画面を一時的に表示しないようにする機能があること（返却済み資料の表示を残しておくこと）		
			110	その際、チェックされた内容の一覧リストをページプリンタで印字できること		
			111	返却画面貸出一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却（不明処理）、一覧印刷の各処理ができること（返却期限票が任意に出せること）		
			112	返却資料一覧表示時、資料種別が表示されること		
		画面展開	113	返却資料の除籍状態区分が除籍予定である場合、返却資料の除籍状態を自動的に通常に戻すか否かを設定が可能なこと		
			114	返却時に予約資料を識別することができること		
			115	資料詳細確認・修正処理に移行ができること		
			116	返却画面から貸出画面への展開は、利用者番号を読み込むだけででき、バーコードリーダによる画面切替えもできること		
		表示情報のクリア	117	返却画面上で貸出資料一覧を確認し、延滞を確認できること		
			118	資料詳細確認・修正処理に移行ができること		
		画面構成・表示	119	個人情報保護の観点から、処理をしない一定の時間（設定可能）が過ぎると表示情報のクリアができること（「表示クリア」ボタンを配置すること）		
			120	「表示クリア」ボタンを押した場合、設定により実行確認画面を表示し、「はい」「いいえ」の選択が可能なこと		
			121	個人情報保護のため、返却第一画面では利用者名は表示しないこと（利用者番号表示、また当該利用者の未返却資料数及び延滞数（うち予約有り数）の表示を端末毎に設定できること）		
			122	読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、またその情報（資料番号・資料名・返却期限等）についても、表示する項目や表示幅等が変更できること		
			123	返却資料の保管場所毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと		
			124	返却資料の更新後資料状態区分毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと		
			125	返却資料の選択、読み込みにより返却者の詳細が確認でき、更に貸出・予約一覧を参照できること		
			126	ファンクションキーで返却者確認や貸出一覧の処理画面を展開できること		
			127	返却画面からの操作で資料を返却した利用者の未返却資料一覧や貸出一覧を表示できること		
			128	未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は色別（文字色・背景色）による表示が可能なこと		
	操作員通知	返却者確認	129	未返却資料一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却（不明処理）、一覧印刷の各処理ができること（返却期限票が任意に出せること）		
			130	画面上に当日の返却点数をリアルタイムに準じて表示できること（表示する情報は、①その端末での状況、②全館での状況とする）		
		オフライン対応	131	返却処理画面で、利用者の予約割当済資料がワンタッチで確認できること		
			132	通知はアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること		
		その他	133	返却した利用者に関する予約割当て、コメント情報のチェックがかけられること		
			134	コメント付き資料・除籍資料・不明資料・借受資料・予約資料・未貸出資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること		
		予約対応	135	返却した資料は返却した時点で、貸出履歴を削除できること（以下の例外を除く）		
			136	返却された資料番号から、①当日中に限り②前々回利用者までに限りと運用に制限をつけ、返却者が確認できること		
	レシート印刷	予約対応	137	返却者確認画面では、返却資料タイトル・返却日時・返却館・返却操作端末ID・返却利用者番号・返却利用者名・返却利用者電話番号が表示できること		
			138	返却者確認画面の表示内容を返却資料タイトル・返却利用者番号番号に制限することができること		
		オフライン対応	139	ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる返却処理ができること		
			140	返却資料の明細をダブルクリック又は右クリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌詳細、ローカル情報一覧）が表示ができること		
		その他	141	利用者を特定することにより、当日の返却済み資料を確認できること		
			142	予約されていた資料が返却され、受渡館が返却処理をした館の場合、その資料は予約割当中とする		
		予約対応	143	返却された資料が他館受渡資料の場合、回送処理を実施し、本の状態を自動的に①予約回送中②通常回送中③回送中にしないを選択可能にすること		
			144	予約割当中の資料を再度返却しても、割当対象の利用者は変わらないこと		
	資料検索業務	検索方法	145	予約されていた資料の返却時に、予約資料情報及び予約割当て対象利用者の情報を予約割当通知票として自動的に印刷できること		
			146	予約割当票には、予約処理で設定した任意の利用者コメントを印字できること		
	検索方法	検索方法	147	他館所蔵の資料が返却された場合、所蔵館が異なることを通知し、所蔵館への回送指示票を印刷できること		
			148	予約受渡館として他館を設定している資料が返却された場合、予約回送を通知し、予約回送指示票を印刷できること		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
			151	所蔵の有無、発注中資料の混在検索ができること		
			152	所蔵資料の検索対象に、除籍済み資料も含むことができること		
			153	発注中資料の検索対象に、選書登録中資料も含むことができること		
			154	論理演算子（AND、OR、NOT）を使用し、複数項目間の複合検索が行えること（5項目以上の複合検索に対応すること）		
			155	検索項目により前方／後方一致、完全一致、中間一致で検索が行えること		
			156	各種検索キーをカナ・漢字・アルファベットの全半角・大文字小文字両方で同じ検索が行えること（同音異語でも検索でき、消音規則は任意に設定できること）		
			157	検索中断キーを有するほか、中断件数を設定できること（少ない文字数での検索の際、完全一致検索にするかどうか設定できること）		
			158	資料名・著者名・件名・内容細目など、項目を選択しない形の「全文検索」が行えること		
			159	「全文検索」では複数の検索語をスペースで区切ることで「すべてを含む」又は「いずれかを含む」といった掛け合わせができること		
			160	「全文検索」で検索する際、「含めるキーワード」だけでなく「含めないキーワード」を指定することができること 例：「京都」を含み「東京都」を含めない		
			161	全文検索と通常検索（前方一致等）は同一画面で行え、全文検索の条件と通常検索の条件との掛け合わせもできること		
			162	請求記号等の所蔵（ローカル情報）項目を一次キーとして検索できること（書誌項目との複合検索が行えること）		
			163	検索対象の絞り込み条件が設定できること（基本的なこと（資料種別・保管場所・所蔵館・状態区分等）は第一画面で設定、検索でき、リストアップができること）		
			164	資料種別、所蔵館、保管場所、状態区分、貸出開始日の検索及びリストアップができること		
			165	資料詳細情報確認画面から、書名、著者、出版者のリンク表示を行い、各項目をクリックすることで選択項目を検索条件とした検索処理を実行することができること		
			166	本に印刷されているISBNバーコードを読み取って検索できること		
			167	項目指定の検索で入力された検索語があらかじめ設定した文字数より少ないときは、自動的に完全一致に切り替わって検索できること		
		印刷	168	検索した一覧をページプリンタ又はレシートプリンタに印字可能なこと		
			169	検索した一覧を紙に出力する以外に、CSV及びPDF形式に出力可能なこと		
		絞込条件	170	ローカル項目（資料種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入形態区分、貸出区分、受入先、予算区分、購入区分、媒体区分、利用対象、流通区分、刊行形態）の組み合わせを絞り込み条件として選択可能であり、任意に絞込みのパターンとして上記区分の組み合わせを保持できること		
		典拠検索	171	内部で管理している典拠番号により、同名異人特定検索、ペンネーム等の別名の自動検索ができること（その関連を一覧画面で確認できること）		
			172	画面から典拠対象の追加・修正・削除が行えること		
			173	外部人名典拠ファイルからの一括登録も可能なこと		
		再検索	174	検索条件を自動的に保存（保存件数は任意に設定できること）し、後から再検索できること		
			175	目録画面にて、目録の次の項目から再検索ができること ・書名（書名／版書名／シリーズ名等）、著者、出版者 ・標目（タイトル、著者、件名）		
			176	再検索の際に、巻号情報を含めずに検索可能なこと		
		画面展開	177	検索を実行した結果、該当件数が一定の件数以下の場合は、一覧画面に自動的に遷移できることまた、その件数は任意に設定できること		
			178	検索結果一覧画面から複本（ローカル）一覧画面、発注一覧画面・目録画面・予約一覧画面・資料詳細画面へ展開できること		
			179	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名、電話番号等が確認できること		
			180	複本一覧は開架に保管されている資料を優先して上位に表示できること		
			181	検索結果一覧画面で明細行をダブルクリックすることにより、あらかじめ設定された画面（複本一覧・目録表示・予約一覧・発注一覧・資料詳細）に展開できること		
			182	検索結果一覧画面から、MARCタグ単位の書誌情報画面に遷移できること		
			183	複本一覧画面にて、以下の項目の日付を時分秒まで表示できること 最終利用日／資料確認日／最終更新日／初回不明確認日／最終不明確認日／不明本発見日／除籍予定処理日／除籍処理日／貸出日／督促日／督促連絡日／前回貸出日／前回返却日／前回継続貸出日		
			184	検索結果を随時保存（件数は任意に設定）し、選択することにより最新の検索結果を表示すること（同一館内であれば他の端末でも保存した結果を利用できること）		
		画面構成・表示	185	特定書誌の資料の所蔵資料・未所蔵資料・発注中資料等の状態が検索結果から把握できること		
			186	書誌の詳細情報を目録カード形式で表示できること（目録表示は目録カードと同じく、全てのデータをカード形式で表示すること）		
			187	検索結果の書誌一覧内に代表サブタイトルを表示できること また、選択中の書誌に対応する全サブタイトルを一覧外に表示できること		
			188	検索結果から所蔵状態（不明資料・除籍・貸出中等）の把握・修正が行えること		
			189	検索結果一覧画面より検索結果一覧の印刷が行えること		
			190	検索結果一覧画面は登録順（最新が上）を常態とし、書名順・著者名順・分類順・出版年月順（任意に設定可能なこと）にソートできること		
			191	検索結果一覧で現在貸出可能、貸出中、他館貸出可能、所蔵なし資料等を背景色又は文字色で色分けして表示できること		
			192	検索結果として表示する項目は任意に設定できること		
	利用者登録業務	住所入力	193	住所ファイルを有し、住所コードにより住所登録できること（住所コードの入力又は選択により、住所・郵便番号が自動的に入力されること）		
			194	郵便番号入力確定時、住所ファイルから該当する住所コードを参照し、自動表示できること		
			195	住所コードの入力簡易ツールとして住所コード名（カナ）又は郵便番号を入力すると該当資料コード一覧が表示し、簡易にコード入力が可能なこと		
			196	広域地域の住所コード・地区コードが入っていて、利用者登録時に利用できること（旭川市と近隣町村）		
		電話番号	197	複数の電話番号及び連絡先を登録できること（この時、「保護者」「通勤先」などと別特で入力でき、表示されること）		
		登録補助	198	利用者の登録、既存利用者の登録情報の修正、登録利用者の除籍、利用者カード紛失時等の再発行処理を行えること		
			199	家族の2人目を登録すると、以降は電話番号入力後、同一番号の利用者データを複写し、氏名・生年月日・性別等を直すだけで次々に登録することができること（前入力データのコピー機能を有すること）		
			200	利用者の検索機能を有すること		
			201	登録（修正）処理した利用者の履歴を参照することができ、次利用者の登録・修正処理にそのデータを活用できること		
			202	生年月日を西暦でも和暦でも登録できること また西暦で登録した場合、次回利用者情報を読み込み時は、登録したときと同じ形式（和暦、西暦）で表示されること		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
			203	利用者名入力時に、自動カナ振り機能を有すること（漢字のローマ字入力に基づいて振れること）		
		再発行	204	図書館利用データ（貸出状況等）を引き継いでの利用者カードの再発行・番号置換ができること		
		有効期限	205	利用者の有効期限の管理を行うことができること尚、貸出、返却画面にて、有効期限切れ前の事前チェックが可能なこと		
		二重登録チェック	206	利用者氏名カナ、電話番号、生年月日で二重登録利用者のチェックを自動的に行えること		
		パスワード登録	207	利用者のメールアドレスやパスワード情報の登録ができ、Web情報の提供・利用者端末等での貸出・予約のシステムと連動できること		
			208	E-Mailは2個以上登録できること。また、予約確保時の連絡先、督促の連絡先として、どのE-Mailでも指定できること		
			209	利用差/パスワード入力画面にて/パスワードを表示するか、非表示とするか選択可能なこと		
			210	利用者/パスワード非表示の際に担当した職員が確認ができるように、表示用/パスワードの入力により表示する機能を用意していること		
			211	利用者仮パスワードには、数字・英文字・記号が使用できること		
			212	利用者登録画面上でパスワードの参照・編集ができないように制限できること		
		コメント管理	213	利用者情報に定型コメント及びフリーコメントを入力できること		
			214	利用者情報に付加するコメントが複数ある場合、表示順を設定できること		
			215	利用者情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること		
			216	利用者コメントの種類により、利用者カードスキャン時に①毎回表示するコメント②表示後消去するコメント③チェックしないコメントの選択が可能なこと		
		管理情報	217	管理項目として、データ登録館、カード発行日、貸出形態区分、状態区分、除籍日、再発行回数、最終利用日の管理を行えること		
			218	利用者毎の過去5年分の利用実績（貸出数、利用回数）を参照できること		
			219	利用者情報の更新履歴を確認できること		
		その他	220	利用者詳細情報画面を表示する際に、利用者の個人情報为非表示状態で画面表示でき、また非表示／表示がワンタッチで切替できること		
			221	年齢は生年月日から自動計算し表示すること（年次処理等は不要であること）		
			222	利用者カードの有効期限は自由に設定できること		
			223	利用者登録画面ではマイナンバーカード基本4情報（氏名・性別・生年月日・住所）を活用し登録することも可能なこと		
			224	利用状況（座席・AV区分・利用人数・状態・開始時刻・終了時刻・資料番号・資料名・利用者番号・利用者名）や利用実績・予約状況が確認できること		
AVブース管理	画面構成・各処理		225	A Vブースとインターネット P C のブースをそれぞれ別に管理できること		
			226	各館のAVブースを一元管理でき、切り替えれば他館の状況も確認できること（中央22・末広6・永山6・東光10・神楽9）		
			227	通常の貸出返却業務とは独立しており、他業務の干渉を受けないこと（貸出中の資料も視聴できる）		
			228	貸出・返却・予約・貸出状況・予約状況がキーボードやマウスで画面展開できること		
			229	未登録者の貸出処理が可能なこと		
			230	CD・DVD・VTRを自動で各ブースに振り分ける設定にできること		
			231	故障ブースはスキップできる設定にできること		
			232	1日に2度視聴しようすると警告ウィンドウが開き、続行か中止か選択できること		
			233	予約資料の現在の状態（利用可能、予約中等）の管理が行えること（貸出予定日を表示できること）		
			234	利用者からのリクエストに対応するため、未所蔵資料への予約登録ができること		
予約リクエスト業務	予約処理		235	未所蔵資料への予約登録時に、利用者区分・資料種別ごとで予約可否のチェックが行えること		
			236	利用者単位の予約上限数を設定し、新規予約登録時に上限を超えて追加する場合は確認画面を表示し、続行・中断が選択できること		
			237	利用者単位の予約上限数は、資料種別の任意の組み合わせにより設定できること		
			238	特定した予約（割当て済みを含む）を解除できること		
			239	割当て済みの予約の割当て状態を解除したとき、予約データを残すのか取り消すのか選択できること		
			240	予約処理画面から利用者を検索し、利用者の設定ができること		
			241	受付館・受渡館を設定することができ、貸出・返却業務とも完全連携が行えること		
			242	本人が借りている資料のタイトルには予約できる・できないの設定が利用者区分毎にできること		
			243	本人が予約しているタイトルに予約できる・できないの設定が利用者区分毎にできること		
			244	資料一覧画面で複数の資料を選択し、一括予約を行えること		
			245	任意の予約を選択し、予約取消が行えること		
			246	取消した予約を確認することができること		
			247	取消した予約を復元することができること		
			248	予約の連絡について連絡済、未連絡を管理でき、連絡済から一定期間（任意設定可）貸出されない予約資料を抽出・割当解除することで次の予約者が利用可能なこと		
			249	利用者番号と資料番号の入力による現物予約機能を有し、この場合でも複本管理予約ができること（予約欄にある資料を使い直接予約をかけられること）		
			250	複本がある場合、全ての複本に予約がかかり、どれか一冊が返却された時点で予約通知が行えること		
			251	長期延滞利用者への予約割当制限ができること		
			252	予約メモの入力ができること		
			253	予約メモは定型文や手入力、又はその両方の組み合わせができること		
			254	利用者情報等で定型文の予約メモを登録することができ、設定登録されている利用者の予約時には、自動的に予約メモの登録がおこなえること		
			255	資料予約入力画面及び利用者予約一覧画面に、「代表サブタイトル」を表示できること		
		予約管理情報	256	予約処理の受付館、受渡館の選択が可能なこと		
			257	予約受付及び受け渡し場所は、設定により館又はサービスポイントの指定が選択できること		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
			258	窓口での予約受付場所は、各端末に設定された館又はサービスポイントを初期表示すること		
			259	予約した際の予約日時を管理することができること		
			260	予約順位は受付方法(窓口・館内OPAC・WebOPAC)にかかわらず、登録した順番とする		
			261	予約順位の変更ができること ただし、予約受付時時間に変更されないこと		
			262	予約受付時間を変更しても、予約順位は変更されないこと		
			263	予約された資料の割当方法(返却待ち、借受待ち、発注待ち等)の情報を管理できること		
			264	予約申込方法(来館予約、電話予約、OPAC予約、Web予約)の管理ができ、申込方法毎の統計資料が出力可能なこと		
			265	資料の予約回送が無駄なく行うため複数資料の予約に対して各館で重複して資料を確保しないよう、あらかじめ設定した受渡館毎の優先順位を加味して自館に所在している予約割当対象資料のリストが出力されること		
		予約連絡管理	266	予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象：全件、割当済のみ、未割当のみ、未所蔵資料のみ ・範囲指定：予約受付日、予約受取希望日、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分 また予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること ・予約リストにはISBN番号及び利用者番号のバーコードを印字できること		
			267	予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力を管理及び連絡方法により、メール・括送信、ハカキ作成が可能であること ・抽出条件：利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法(電話、E-Mail等)		
			268	予約在庫リストの出力時、予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること		
			269	予約在庫リストの出力時の表示条件として、閉架庫庫の資料を優先して上位に表示することができること		
		予約制限	270	予約したタイトルに対して、割当対象館を特定館のみと指定することができること		
			271	予約割当制限にて、特定資料に対して予約割当を不可とする設定が可能なこと		
			272	予約割当を禁止したい(予約させたくない) 資料を特定の別置/分類や保管場所で指定することができること		
			273	長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者が予約しようとした場合、メッセージを表示して予約できないようにできること また、職員判断により予約受付もできること		
		予約上限	274	予約の上限設定に、申し込み方法(窓口/電話/OPAC/Web)及びタイトルの媒体区分毎に予約の上限設定が可能なこと		
			275	1日に予約可能な件数を制限できること		
		予約変更・取り消し	276	予約変更・取り消しの履歴を保存し、帳票に出力可能なこと		
		画面展開・表示	277	検索結果から予約処理に展開することができること		
			278	予約者の予約・貸出状況(予約数・貸出数・督促数・延滞数)を予約受付画面に表示できること		
		優先順位	279	基本的に予約した順で優先を決めるが、予約順位の変更が簡単な処理で可能なこと		
	相互貸借業務	予定入力	280	他館からの相互貸借の予定を入力でき、相互貸借の依頼表を出力可能なこと		
			281	借受資料を自館資料登録と同様の操作で登録、修正が行えること(借受資料登録用の専用画面は持たないこと)		
		受入処理	282	他館からの相互貸借の予定を検索し、該当する資料を特定し、受入処理して一般利用者に対する貸出ができること		
			283	どこの館からどの資料を借りているか画面で表示できること(借受館へ返却済みか等の状態も表示できること)		
			284	借受資料の登録は、事前に借受の予定を入力していなくても、資料到着後に登録して受入処理ができること		
			285	借受予定入力の際には、タイトル、著者名、出版社、出版年月、ISBN、分類番号、資料番号、請求記号、借用館、借用予定日等が入力できること		
			286	借受予定の資料に予約がかけられること		
		借受先への返却期限	287	借受資料単位に借受先への返却期限を管理できること(一般利用者に対して貸出をする際に、他館資料の貸出期限と自館資料の貸出期限をチェックし、他館資料の貸出期限が短い場合、貸出期限が短い場合、貸出時に注意メッセージを表示できること)		
			288	他館資料を返却した際に、借りた履歴を残すためにタイトル情報を保存するかどうかを選択できること(次回再利用できること)		
		返却処理	289	他館資料を返却した際に、誤って次の予約を登録している場合に、予約割当を抑制すること等により、相互貸借資料の再貸出を制限できること		
			290	他館資料の借受状況を、タイトルや借受日等から検索でき、どの図書館から借りたかの管理が可能なこと		
		履歴	291	借受状況を表示する際、文字色・背景色の設定ができ、借受期限切れ資料の確認が容易にできること		
			292	年報(相互貸借館毎・分類毎の貸出点数、借受点数)や実績一覧(借受タイトル・貸出タイトル)が印刷できること		
		統計処理	292	年報(相互貸借館毎・分類毎の貸出点数、借受点数)や実績一覧(借受タイトル・貸出タイトル)が印刷できること		
資料管理業務	書誌データ管理業務	書誌データ管	293	典拠データを利用してMARCデータを登録できること		
			294	MARCの各種書誌情報(記事・内容等)を登録・修正することができ、検索対象とすることができること		
			295	日本図書館協会が販売しているMRDF9(日本十進分類法新訂 9 版機械可読ファイル)を分類検索用データとして取り込むことができること		
			296	NDCは「8版と10版」というように複数のNDCを登録・管理でき、メインで使用するNDCを設定することができること		
			297	書誌情報に定型コメント及びフリーコメントを入力できること		
			298	書誌情報に付加するコメントの表示順を設定できること		
			299	書誌情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること		
			300	複本資料も、既登録資料のMARCデータを利用して登録できること		
			301	図書館独自のキーワード情報を登録できること。 CSVファイルでの一括登録ができること		
		TRC-MARC	302	「日本目録規則2018 年版」(NCR2018)による、TRC_TタイプのMARC改定版に対応すること 増設されたタグ情報の登録やタグ情報を用いた検索が行えること		
			303	TRCMARC(Uタイプ)に対応すること(人名典拠・内容細目・学習件名等の各種サブファイルの登録・活用ができること)		
			304	TRCMARC(Tタイプ)に費用を追加することなく対応できること		
			305	JIS78で入力された文字とJIS90で入力された文字を同一視できること 例)「遅しぐれ」と「遅しぐれ」		
			306	トーハンMARC V1.5に対応すること		
		トーハン	307	文字コードはShift-JISとUTF-8に対応すること		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
			308	本タイトルにルビのある書名についてのルビ読みを除いた書名(251Cタグ)が取り込めること		
			309	抄録・著者紹介の拡張タグが取り込めること		
			310	内容細目ファイルの取り込みができること		
			311	著者典拠ファイルの取り込みができること		
		AV-MARC	312	各種AV-MARCに対応していること		
			313	各種情報を可変長にして登録し、検索することができること		
			314	複数所蔵資料のデータ管理が行えること		
		JAPAN/MARC	315	国立国会図書館が提供する『JAPAN/MARC MARC21フォーマット』形式のMARCファイル取り込みができること		
			316	図書登録画面からNDL-OPAC (http://iss.ndl.go.jp/api/) の情報を検索する画面に展開し、検索した結果をコピーして書誌の登録ができること		
			317	NDL-OPAC (http://iss.ndl.go.jp/api/) の情報はNDC10版データを登録ができること		
		資料管理帳票	318	所蔵資料の資料種別・統計分類毎に点数・金額を集計し、内訳表を出力できること		
			319	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること		
			320	統計データをExcelと連携し、2次加工できること		
	ローカルデータ管理業務	ローカルデータ管理	321	ローカル情報で「所蔵館」「所在館」等の詳細情報を管理して分館連携に対応できること		
			322	ローカル情報に定型コメント及びフリーコメントを入力できること		
			323	ローカル情報に付加するコメントの表示順を設定できること		
			324	ローカル情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること		
			325	資料バーコード読み込みによるローカル情報の連続変更及び条件の範囲指定による一括変更ができること(所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与/変更、コメントの付与等)		
			326	資料番号が登録されたテキストファイルの読み込みによるローカル情報の連続変更ができること(所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与/変更、コメントの付与等)		
			327	借受資料登録時は借受先が入力できること		
			328	資料の寄贈者情報の入力ができ、寄贈者単位での冊数確認及び一覧表の印刷が可能なこと		
			329	複本のデータ管理が行えること		
			330	資料の除籍・復籍処理が連続で行えること		
			331	蔵書点検用携帯端末で読み込んだバーコード情報により、任意の複数の各区分の一括変更ができること		
			332	資料の新規登録時、資料種別がバーコード上の特定の桁位置の値から判別できる場合は自動的に表示すること		
			333	資料の新規登録時、資料種別が書誌情報のNDC分類又は別置から判別できる場合は自動的に表示すること		
			334	資料の新規登録時、請求記号を書誌情報の下記の項目をもとに初期値を表示できること NDC分類、刊行形態区分、著者名カナ、書名カナ、巻冊記号、別置記号		
			335	資料に付与された定型コメントを抽出し、一括削除できること		
		蔵書点検	336	蔵書点検は全館一斉だけでなく、一部の館のみ点検処理を行い、他の館は通常通り開館できること		
			337	蔵書点検準備処理として、点検開始日・所蔵館・保管場所・資料種別・別置・分類を指定して、対象の資料を点検対象とする		
			338	蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること		
			339	蔵書点検準備処理を複数設定する際は、条件の重複がないかチェックできること		
			340	蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること 設定された条件は、変更・削除が可能なこと		
			341	蔵書点検期間中でも発注や受入ができること		
			342	蔵書点検の際、除籍・未登録・配架場所相違等のチェックリストを出力できること		
			343	蔵書点検の際、不明資料・未返却資料については、自動的に通常状態にし、返却処理を行えること		
			344	蔵書点検は蔵書点検用携帯端末、業務用クライアントで作業ができること		
			345	不明更新を行う前に不明候補資料の一覧を印刷できること		
			346	任意指定回数以上の不明資料を一括で除籍に変更できること		
			347	蔵書点検中に通常返却処理を実施することが可能であり、返却された資料は点検済みとなること		
		特集資料管理	348	特集毎に資料番号の読み取り、又は、POT等使用して出力した資料番号データを取り込むことにより、資料が登録できること また、登録済みの特集に資料番号の読み取りにより追加・削除ができること		
			349	特集へ登録した資料の所蔵館、保管場所を一括で変更できること また、特集終了後は変更前の所蔵館、保管場所に一括で戻ること		
			350	特集を一時停止できること 一時停止した場合、登録資料の所蔵館、保管場所が変更前の内容に一括で戻ること		
			351	一時停止した特集を復帰処理させることで、特集を再開できること 例) クリスマス特集を来年度も再利用できる		
			352	特集資料管理画面では特集の状態、特集内容、登録資料数、開始日、終了予定日、所蔵館、保管場所を一覧表示できること		
			353	特集へ登録している資料一覧を印刷できること		
			354	特集資料管理画面から、特集へ登録している資料の目録情報が参照できること		
			355	特集の開始・停止・再開・終了は自動で行われず、任意のタイミングで手動で行えること また、自動で停止/終了する運用も可能であること		
			356	複数の特集を同時に管理できること		
			357	1点の資料を複数の停止中の特集に登録できること		
			358	特集に資料を登録したとき、他の特集に登録済みの資料であるかチェックされること		
			359	現在有効になっている特集に登録済みの資料を他の特集に登録した場合、登録済みの特集名を表示でき、新規の特集に登録変更するか変更しないか選択できること		
			360	特集毎に開始日/終了予定日に合わせて自動的に所蔵館、保管場所の変更を開始/停止する設定ができること 手動での動作に戻すこともできること		
		その他	361	借受け先別順の資料リストが出せること		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
	雑誌管理業務	雑誌管理	362	并償待ち資料の一覧が作成、印刷できること		
			363	資料情報更新結果印刷についてソート条件として請求記号を選択できること その際、資料種別+請求記号順にてソートできること		
			364	除籍資料リスト一覧画面、除籍予定リスト及び除籍リストに以下の情報が出力できること 全館の複本冊数/全館の利用可能冊数/最終利用日/通算貸出累計数/本年度貸出累計数		
			365	タイトル書誌一覧を表示することによりタイトルを特定し、タイトル/巻号の書誌連携が行えること		
			366	タイトルと巻号情報が分けて管理されること		
			367	各種データを可変長にて登録し、検索できること		
			368	最新号の登録時に直前号の巻号情報を初期表示できること		
			369	逐次刊行物（雑誌等）の欠号・増刊管理ができること		
			370	最新号受入登録時に、「通巻番号」の全号との比較で欠号チェックを行い、チェックメッセージを表示できること		
			371	逐次刊行物等の製本（合本）処理ができること また、製本された資料のタイトル情報は移行され資料検索できること		
			372	最新号を受け入れたタイミングで、それ以前の巻号は自動的に貸出可能となること		
			373	最新受入が「別冊」や「増刊号」の場合、最新号とは別扱いとし、「定期号」の最新号を貸出禁止の状態を保つことができること		
			374	雑誌タイトル毎に保存期間、開架期間、貸出禁止期間の設定ができること		
			375	雑誌タイトル毎に保存区分の設定ができること 保存区分には「永久保存」の設定もできること		
			376	雑誌のローカルデータで、開架から閉架に移動する期日を管理できること		
	その他	外部公開 その他	377	おすすめ等の外部公開蔵書データの作成に特集資料管理機能を利用できること		
			378	貸出期限日・所蔵館・資料種別・除籍対象外貸出状態区分で特定した未返却資料を一括で除籍できること		
			379	タイトル情報登録画面にて人名情報・著述区分を変更した際に、責任表示欄に変更した内容が反映されること		
			380	未利用資料の一覧が印刷できること また「最終貸出日」「最終確認日」を出力できること		
			381	未返却資料一括除籍処理の検索結果一覧で、前回除籍実行した時の条件を保存し、初期値としてその条件を表示できること		
			382	資料番号又はISBN番号又はMARC番号が記載されたテキストファイルを読み込み、対象の書誌情報の一覧を画面表示や帳票出力できること		
選書業務	選書管理	選書管理	383	ISBN番号から選書登録ができること		
			384	MARCを利用して選書登録ができること		
			385	TOOL連携時には、TOOLを利用したMARC番号入力により選書登録ができること		
			386	見計らい本等を使用して、選書候補となる資料を「選書登録」又は「一括選書登録」ができること		
			387	発注前の選書状態を管理するための状態区分があること		
			388	選書リストに出力されたバーコードを読み込み、発注の状態を変更できること		
			389	選書リストに出力されたバーコードを読み込み、選書取消ができること		
			390	選書登録した資料を一括で発注処理ができること		
			391	選書の一括発注時に選書保留状態の資料が発注対象にならないこと		
			392	選書登録画面で各館の選書状況が確認できること		
			393	選書の一括登録時、館毎の注文数を指定して登録できること		
			394	登録した選書情報を選書リストに出力できること		
			395	選書リストに対象資料の集計金額を出力できること		
			396	選書リストに発注番号のバーコードを出力できること		
			397	選書リストに出力したバーコードを利用し、資料の選書状態/保留状態を変更できること		
発注・受入管理業務	発注・受入管理	発注・受入確	398	発注状況、受入状況が画面で確認できること		
			399	発注中の図書資料についてもMARCで検索できること（発注中のステータスを画面上に表示できること）		
			400	発注図書にそのリクエスト者を（複数）入力できること		
			401	新刊MARCを利用した発注が可能なこと		
			402	同一タイトルに対する「二重発注」「既に所蔵済」の場合、チェックし誤発注の抑止ができること また、発注点数及び複本点数を表示すること（他に何点発注しているかあるいは他に何点所蔵している分かること）		
			403	新刊案内等に印刷されたバーコードを読み込むことにより、発注データの作成が可能なこと（一点毎の確定を必要としないこと）		
			404	発注情報に定型コメント及びフリーコメントを入力できること		
			405	発注情報に付加するコメントの表示順を設定できること		
			406	発注情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること		
			407	発注の取消が行えること		
			408	発注取消データから再発注ができること		
			409	発注する資料のMARC番号、ISBN番号を連続して入力することにより、一括発注ができること		
			410	TRCの発注データを作成できること（作成・抽出したデータは一覧形式で印刷できること）		
			411	新刊MARC一括登録時、「新刊急行ベル」などの資料は自動で発注データを作成できること（TRCの発注データは作成しない）		
			412	発注の取消ができ、取消した発注情報は履歴として残すことができること		
			413	MARC番号発注での発注入力時に、あらかじめ設定したルールに従って請求記号を自動表示及び登録できること		
			414	MARC番号発注での発注入力時に、発注ローカル情報に発注コメントが付与できること		
		受入処理	415	受入処理が終了した資料については、受入図書リストに出力できること（受入区分・受入日・資料種別順などでリストアップできること）		
			416	発注管理ファイルと受入管理ファイルのデータを定期的にマッチングさせて、未納入図書リストを書店毎に出力できること		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
			417	発注情報を参照しながら受入処理が行えること		
			418	資料のISBN/バーコードを読み取って書誌を特定して受入できること		
			419	各種MARCデータにより一括受入後、専用画面で検収処理が行えること（検収画面では、必要に応じてローカルデータの修正が行えること）		
			420	受入時に資料状態の初期値を任意に設定できること		
			421	受入後一定期間、新着資料として識別することができること		
			422	受入リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件：所蔵館、資料種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態区分、受入日、別置区分、資料番号、分類 ・ソート条件：館、種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態、タイトル順、資料番号順		
			423	受入リスト印刷での帳票プレビュー・出力、及びテキスト出力にて、ISBN番号を出力できること		
			424	雑誌受入リスト印刷で発行周期を出力できること		
		新着資料印刷	425	新着資料案内を印刷できること		
		予算管理	426	資料の受入先（書店等）が複数の場合でも予算管理ができること		
			427	発注時処理から予算の差し引き処理が自動連携できること		
			428	受入処理から予算の差し引き処理が自動連携できること		
			429	年度毎・月毎に予算額・発注額・受入額・予算残額・受入残額が管理できること		
			430	利用者氏名（カナ・漢字・アルファベットで全半角混在で可能）・電話番号・生年月日・利用者区分・E-Mail・利用者状態区分・利用者番号・連絡先名・連絡先電話番号・郵便番号での検索処理が行えること		
利用者管理業務	利用者管理	利用者検索	431	複数の項目に入力することによりAND検索ができること		
			432	入力した検索条件に該当する利用者と、電話番号、又は、住所が一致する利用者を家族利用者として同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること		
			433	検索中断件数を設定できること（検索中断キーにより任意に中断できること）		
			434	検索結果画面は条件入力画面と同一画面で表示されること		
			435	利用者一覧にて表示できること 項目の種類・幅・順番を任意に設定できること		
			436	利用者の詳細情報を表示できること（氏名・電話番号・生年月日・年齢・住所・最終利用日・督促累積回数・有効期限・貸出資料一覧・予約資料一覧・コメント等が確認できること）		
			437	検索された利用者を選定することにより、貸出中資料、予約中資料の確認、処理展開ができること		
			438	検索された利用者を選択し、選択した利用者の利用者番号を引継ぎ貸出処理へ展開ができること		
			439	デフォルトカーソルの位置は、任意設定が可能なこと		
			440	入力した電話番号ですべての連絡先の電話番号を検索できること		
		利用者抽出	441	団体利用者・相互貸借利用者毎のリストが出せること		
			442	地区別に利用者集計を出力できること		
			443	抽出結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること		
			444	統計データをExcelと連携し、2次加工できること		
		利用者処理	445	利用者一覧画面から選択した利用者の番号置換え・再発行・有効期限更新・利用者状態区分一括変更・一覧印刷が可能なこと		
		無効処理	446	最終利用日から一定期間（任意に設定可）を過ぎた利用者を無効（除籍）にできること		
		督促・予約処理	447	貸出期限・貸出館・資料種別・利用者区分・予約状況によって督促対象者の抽出・設定ができること		
			448	一定期間以上未返却の資料、又は返却予定日の範囲指定及び督促回数により、督促ハガキを印刷できること（印刷する利用者を任意に選択できること）		
			449	督促対象資料中の予約資料のみを抽出し、督促対象設定・ハガキの印刷が可能なこと		
			450	督促ハガキの印刷は郵便番号順にソートが可能なこと		
			451	督促ハガキの印刷実行時に、督促連絡回数を加算できること		
			452	返却期限日の範囲指定、督促回数、予約状況、借受資料、貸出館により、督促リストの印刷ができること（氏名や電話番号・住所・資料種別に打ち出せること）		
			453	督促状で保護者を設定している場合は保護者の印字もできること		
			454	督促ハガキに資料名・資料番号のいずれを印字するか選べること		
			455	督促ハガキにコメントを印刷できること		
			456	督促状はA4サイズのドライシール（単票）の用紙にも対応できること		
			457	督促状は封書（B5サイズ）にも対応できること		
			458	督促状は秘匿感熱用紙（ハガキ）にも対応できること		
			459	予約連絡メール、督促連絡メールをシステムから送信できること また、あらかじめ送信時間、送信曜日、送信対象期間等を設定して自動で送信できること		
		紛失・弁償管理	460	貸出中資料を利用者が紛失した場合に、紛失中又は弁償中という状態を管理できること		
			461	紛失資料の一覧が印字できること		
		予約連絡管理	462	予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象：全件、割当済のみ、未割当のみ、未所蔵資料のみ ・範囲指定：予約受付日、予約受取希望日、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分、予約状態 また予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること ・予約リストにはISBN番号及び利用者番号のバーコードを印字できること		
			463	予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力を管理及びメール、ハガキによる一括送信が可能なこと ・抽出条件：利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法（電話、E-Mail等）		
		督促連絡管理	464	督促リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件：返却期限、督促回数、貸出館、資料種別、利用者区分、貸出状態、予約受渡館、連絡方法 ・利用者に対して督促対象外コメントを入力した場合、リストから対象外とすること ・上記督促リストは督促処理などのバッチ処理を不要とすること		
			465	督促連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、督促連絡済の入力を管理及びメールによる一括送信が可能なこと ・抽出条件：利用者番号、返却期限日、督促連絡日、督促日、督促回数、督促回数、貸出館、貸出状態、連絡方法（電話、E-Mail等）、連絡回数、連絡状態		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
		E-Mail機能	466	前回の督促連絡管理の抽出条件を、自館の抽出条件の初期値として表示することができること		
			467	督促連絡済の記録について、資料毎の連絡回数と各連絡時の情報（連絡日、連絡方法、備考等コメント）、連絡状態の管理が可能なこと		
			468	次の画面から対象の利用者に対しE-Mailの入力画面を開き、連絡用のメールを送信する機能を有すること 利用者貸出一覧画面、利用者予約一覧画面、利用者詳細画面		
			469	利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい貸出資料情報を選択し連絡できること		
			470	利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい予約資料情報を選択し連絡できること		
			471	返却期限日が過ぎている利用者に対して、延滞を連絡するメールを送信できること		
			472	返却期限日超過を知らせるメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること		
			473	各種メール機能にて、文面に宛名を表示するメールに関して、宛名情報に利用者番号の表示ができること		
			474	各種メール機能にて、メールサーバーのスパムメール対策への対応として、自動メール送信時に送信間隔を空けてメール送信が行えること		
		その他	475	利用者カードの有効期限を更新するとき、次のいずれの日付を基準として起算するか設定できること ・カードの更新を行った日から起算する ・カードの有効期限日から起算する ・カードの利用者の生年月日から起算する		
			476	利用者カードを再発行時に有効期限を更新するか否かを選択できること		
館内OPAC	館内OPAC	全般	477	タッチパネルディスプレイを利用したシステムであること		
		検索	478	ひらがな、カタカナ、数字、特殊文字の文字入力が可能なこと		
			479	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することでAND/ORによる複合検索ができること		
			480	フリーワードによる検索時、NOTによる複合検索ができること		
			481	フリーワードによる検索時、資料番号の検索ができること		
			482	資料種別又は全資料より選択して検索できること		
			483	検索対象とする館を自館のみか全館か又は複数の館を選択した上で検索できること		
			484	タイトル・著者名（典拠データ参照）・キーワード等より選択して検索できること（一般書か児童書かで絞った後でも可能なこと）		
			485	50音表記から検索キーの入力ができること（この時表示されるキーボードは右並び、左並びが選択可能なこと）		
			486	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること		
			487	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること		
			488	検索結果がソート（ソート）可能なこと		
			489	フリーキーワードによる中間一致検索が可能なこと		
			490	検索結果が複数ページにわたる場合、指定したページ（先頭ページ、最終ページ、ページ番号指定）に直接移動できること		
			491	あらかじめ設定した任意の期間を超えて延滞している資料を検索の対象外にできること		
			492	館内OPACでキーボードを使用することなく、漢字検索を行うことができること		
			493	検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること		
		画面構成・表示	494	大人用・子供用の画面を用意し、利用者が使いやすい機能であること		
			495	画面を触らない時間（任意設定）が一定を過ぎたら、お知らせ等の自動表示、又は初期画面に戻ること		
			496	一覧表示形式は、タイトル毎に横形式に表示すること		
			497	資料情報明細欄に表示させる項目・幅・見出しが自由に設定できること		
			498	除籍予定や不明資料などは表示しないこと（状態区分により、任意に設定できること）		
			499	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データ毎に改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する		
		予約	500	館内OPACから、利用者番号、パスワードの認証により、予約受付が可能なこと		
			501	予約が完了したら認証済み状態ではなくなること		
			502	設定により、未所蔵資料への予約受付ができること		
			503	未所蔵資料への予約受付時に、利用者区分・資料種別ごとで予約可否のチェックが行えること		
			504	貸出中資料に延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること		
			505	長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約を制限できること		
			506	貸出中資料に延滞かつ予約あり資料がある利用者の予約受付を制限できること		
			507	貸出中資料に督促資料がある利用者の予約受付を制限できること		
			508	あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること		
			509	自館に貸出可能資料があるときに、予約ボタンを表示する／しないを設定できること		
			510	他館に貸出可能資料があるときに、予約ボタンを表示する／しないを設定できること		
			511	複数又は単数のタイトルを1回の認証で予約ができること		
			512	タイトル一覧画面で予約ができないタイトルは、複数選択のボタンの選択ができないようになっていること		
			513	タイトル一覧画面で複数のタイトルを選択したとき、ページを移動しても選択したタイトルは記憶していること		
			514	予約受付時に、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを入力可能なこと		
			515	予約受付時の、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを省略可能なこと		
			516	予約受付時の、予約受渡館は利用者区分・利用者貸出形態区分の組み合わせごとに設定された受渡館を表示できること これにより特定の利用者のみに受渡館に宅配サービス表示する等の制約が可能なこと		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
			517	連絡方法は利用者区分毎に選択できる連絡方法を制御できること		
			518	予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること		
			519	選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること		
			520	予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること		
			521	検索した資料が貸出中又は他館にある場合はOPACから予約をかけることができること（利用者番号とパスワードを入力すること）		
			522	館内OPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員の業務端末で抽出・印刷ができること		
		セット予約	523	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること		
		貸出・返却	524	バーコードリーダーを設置することによって、利用者自身が貸出・返却手続きを行えること		
			525	マイナンバーカードを図書利用券として活用できること 非接触型のICカードリーダーにかざすことで、簡単に図書を借りることができること		
		パスワード登録	526	OPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと		
			527	新規パスワード登録時に、既にパスワードを登録済みの利用者が、新規パスワードを登録できるか、登録できないかをシステムで選択できること		
			528	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名（カナ）、生年月日、電話番号で認証すること		
			529	新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること		
			530	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名（カナ）、電話番号等で認証すること		
			531	新規パスワード登録時、氏名（カナ）を音音化してチェックできること 例）入力文字「シユンコ、シユンゴ、シユンコ、シユンコ・・・」を清音「シユンコ」と見なす		
		利用状況照会	532	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること		
			533	延滞ペナルティ（予約・貸出制限）期間中利用者に対し、利用状況照会画面に利用停止メッセージを表示できること		
			534	利用者が現在借りている資料について延長処理ができること （利用者及び資料の状態が延長可能条件を満たした場合に限る）		
			535	返却期限が過ぎている貸出中資料は延長を制限できること		
			536	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料は延長を制限できること		
			537	督促がされた貸出中資料は延長を制限できること		
			538	貸出中資料が借受資料の時は延長を制限できること		
			539	他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること		
			540	返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること		
			541	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が一点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること		
			542	督促がされた貸出中資料が一点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること		
			543	利用者が現在借りている資料一覧をレシート印刷できること		
			544	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること		
			545	利用者自身が予約を解除せずに予約割当のみを解除できること		
			546	取消された予約資料が一覧で確認できること		
			547	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示するか別々の画面で表示するかあらかじめ設定できること また、同じ画面で一覧表示する場合は予約確保されている資料が一覧の上に表示できること		
			548	利用者が予約中の資料について、旅行等のため不在の間、一時的に割当の保留登録ができ、また、元に戻すことができること		
			549	利用者が予約中の資料について予約取消ができること		
			550	利用者が予約中のリクエスト資料については予約取消ができないようにすること		
			551	利用者が照会した予約一覧をレシート印刷できること		
			552	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること		
			553	利用者認証時に、延滞資料が存在する利用者に延滞警告メッセージを表示できること		
		利用情報変更	554	利用者のパスワード及びメールアドレスの変更が可能なこと		
			555	メールアドレスの変更時はメールアドレスフォーマットの確認をおこない、フォーマット不正の場合にはエラーメッセージが表示できること		
		利用者機能	556	利用者認証は、利用者番号、パスワードにより可能とすること		
			557	利用者認証時に、利用停止・除籍予定の利用者のログインを制限できること		
			558	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること		
			559	利用者認証時に長期未利用利用者のログインを制限できること		
		検索結果印刷	560	検索一覧の印字、資料詳細情報の印字が可能なこと（レシートプリンタ等）		
			561	一画面で、印刷ボタンは1回しか押せないようにできること（連打防止の機能を有すること）		
			562	自館所蔵資料がないときは印刷ボタンを表示しないようにできること		
			563	自館に利用可能資料がないときは印刷ボタンを表示しないようにできること		
			564	所蔵情報の明細は自館所蔵のみに限定できること		
			565	所蔵情報の明細は自館利用可能資料のみに限定できること		
		レシート印刷	566	館内OPACから予約受付票をレシートに印刷できること		
			567	館内OPACから在架場所一覧をレシートに印刷できること また在架場所を配架図としてイメージ印刷できること		
			568	予約受付票には予約した利用者について以下の情報が出力できること 利用者バーコード／利用者番号／利用者漢字／利用者カナ／予約受渡館／予約受渡SP／予約連絡方法		
			569	予約受付票には予約した資料について以下の情報が出力できること 資料バーコード／資料番号／タイトル／著者／出版者／出版年／ページ数／価格／請求記号		
			570	予約状況レシートに以下の情報が出力できること 発行日／利用者番号／タイトル／予約日／受渡館／予約順位		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
		お知らせ	571	次のレシートに任意に登録した画像を印字できること 返却期限票／利用者番号通知票／資料レシート／書誌レシート／予約状況レシート／タイトル一覧レシート		
			572	レシートに印字する画像は複数登録でき、順番に印刷できること		
			573	印字期間を登録し、開始／終了の管理ができること		
			574	催し物表示ができること		
			575	テーマ毎に集めた資料や紹介したい資料を図書館からのおすすめ本として表示できること		
			576	案内お知らせ機能で、図書館カレンダー情報を館毎にカレンダー形式で表示できること（システムと連動して自動的に表示できること）		
			577	新着資料・新刊資料・貸出ベスト資料・予約ベスト資料の表示機能があること（あらかじめ設定した条件・抽出サイクルにより自動作成されること）		
			578	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト資料・おすすめ本は一覧を表示するだけでなく、一覧をタッチすることにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること		
			579	現在（データ抽出処理時点）の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること		
			580	利用者認証時に、有効期限日を過ぎている又は期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること		
			581	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データはあらかじめ設定された条件及び処理サイクルに従ってサーバー上で自動作成されること このとき、業務端末は起動していなくてもよいこと		
			582	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データは業務端末上で手動で作成することもできること		
		統計処理	583	館内OPACのアクセス統計がとれること		
			584	館内OPACのページ別にアクセス統計をとることができること		
			585	館内OPACのアクセス統計は、期間指定により曜日、自館別の集計を行うことができること		
Web蔵書検索システム	Web蔵書検索システム	全般	586	インターネット蔵書検索が可能なこと		
			587	Webサーバー上に公開データベースを持ち、検索ができること		
			588	蔵書検索はパソコンだけでなく、スマートフォン・タブレットからも検索ができること		
			589	LINEや個別アプリ等との連携ができること。Android、iOSに対応すること		
		検索	590	フリーワード検索は全文検索エンジンを採用していること		
			591	簡単な検索画面と詳細な検索条件を指定できること 両方の画面があること		
			592	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することによりAND／ORによる複合検索ができること		
			593	フリーワードによる検索時、NOTによる複合検索ができること		
			594	資料種別又は全資料より選択して検索できること		
			595	資料名（3項目以上の複合検索が可能なこと）、人名（同左）による検索のほか、出版者・発行者・件名・NDC分類・受賞名・ISBN・出版年月による範囲指定が可能なこと（フリーワード全文検索機能を有すること）		
			596	検索結果一覧として、以下の項目（該当件数・現在頁数及び全体頁数）・項番・資料名・人名・出版社・分類・出版年月等）を表示できること		
			597	一覧表示数は1頁に10件を標準とし、25件・50件・300件と選択可能なこと		
			598	詳細表示として以下の項目（書誌データとしては資料名・人名・出版社・出版年月・頁数・サイズ・価格・ISBN・分類・件名・注記・内容細目・内容紹介・著者紹介・利用対象等、ローカルデータとしては所在館・保管場所・種別・請求記号・資料番号・貸出区分等）を表示できること		
			599	検索条件入力画面、検索結果一覧画面でソート条件（タイトル、人名、出版者等）を選択することによって、検索結果を条件順に表示できること		
			600	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること		
			601	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること		
			602	資料データの状態（貸出状態、予約状態、資料状態）は業務サーバーと連携し、リアルタイムに検索結果に反映されること		
			603	検索結果一覧、詳細画面で著者をクリックすることにより、選択した著者で再検索できること		
			604	検索結果一覧、詳細画面で蔵書名をクリックすることにより、選択した蔵書名で再検索できること		
			605	検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること		
			606	外部公開機能の新着リスト・新刊リスト・貸出ベスト・予約ベストの表示対象資料・期間を利用者が指定して表示できること		
			607	検索結果一覧は、資料イメージを中心としたカードモードと文字情報を中心としたシンプルモードで表示することができ、モードの切り替えを利用者自身が行えること またカードモード・シンプルモードの初期表示設定を利用者自身でできること		
			608	シンプルモードで表示する場合、検索結果一覧として、該当件数・現在頁数及び全体頁数・項番・資料名・人名・出版社・分類・出版年月を表示できること		
			609	カードモードで表示する場合、検索結果一覧として、該当件数・現在頁数及び全体頁数・書影表示領域・資料名・人名・出版社・分類・出版年月を表示できること		
			610	図書館が独自作成・登録した地域資料等の画像データを検索・表示することができること		
		画面構成・表示	611	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データ毎に改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する		
			612	「JIS X 8341-3：2016」のAAIに準拠し、読上げソフトに対応したデザインであること		
			613	画面幅779px以下で表示した場合、スマートフォンやタブレットでも見やすいように自動的にデザインが切り替わること		
		予約	614	予約システムを提供し図書館システムとシームレスな連携が可能なこと（予約データはリアルタイムに業務サーバーに反映されること）		
			615	予約カート方式であること		
			616	予約上服チェック（Web+図書館基本システム）が可能なこと		
			617	PCブラウザ用画面にて利用者がログアウトした時やブラウザ画面を閉じた時にカート情報が削除されること また、カート登録はログインしないといけないものとした場合は予約カート情報をサーバー側に保持できること		
			618	予約などの認証時に使用するパスワード保護対策として、一定回数連続で認証に失敗すると、設定された時間はログインを制限することができること		
			619	予約に際しては、利用者番号及びあらかじめ利用者へ付与したパスワードによる認証を行うこと 予約受取館の設定ができ、予約資料が準備できた際に、メールによる通知が可能であること		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
			620	利用停止や除籍予定の利用者の予約受付を制限できること		
			621	貸出中資料(延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること		
			622	長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約を制限できること		
			623	貸出中資料に延滞かつ予約あり資料がある利用者の予約受付を制限できること		
			624	貸出中資料に督促資料がある利用者の予約受付を制限できること		
			625	あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること		
			626	予約受付時の連絡方法登録は、利用者区分毎に選択できる連絡方法を制御できること		
			627	予約受付時の、予約受渡館は利用者区分・利用者貸出形態区分の組み合わせごとに設定された受渡館を表示できること これにより特定の利用者のみに受渡館に宅配サービス表示する等の制御が可能なこと		
			628	予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること		
			629	予約受渡のサービスポイントを選択するとき、選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること		
			630	予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること		
		お気に入り登録	631	資料詳細から、お気に入り資料の登録が可能なこと		
		パスワード登録	632	新規パスワード登録時に、既にパスワードを登録済みの利用者が、新規パスワードを登録できるか、登録できないかをシステムで選択できること		
		利用状況照会	633	利用者の貸出状況・予約状況という利用状況にあわせ、利用照会メニュー、図書館カレンダーや新着資料一覧などをまとめてポータル画面等で確認できること		
			634	利用者認証時に、延滞資料が存在する利用者に延滞警告メッセージを表示できること		
			635	延滞ペナルティ（予約・貸出制限）期間中利用者に対し、利用状況照会画面に利用停止メッセージを表示できること		
			636	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること		
			637	返却期限が過ぎている貸出中資料は延長を制限できること		
			638	他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること		
			639	返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること		
			640	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること		
			641	利用者が予約中の資料について予約取消ができること		
			642	利用者が予約中のリクエスト資料については取消ができないようにすること		
			643	利用照会の貸出状況表示画面において、返却期限を超過している明確に期限が超過していることを通知するアイコンとメッセージを表示できること		
			644	利用照会の予約確保資料一覧に引取期限日を表示できること		
			645	貸出・予約・予約確保の一覧画面にて、タイトルから1クリックで書誌詳細画面へ遷移できること		
			646	貸出中資料の延長は任意の1点又は複数冊を選択して行えること		
			647	取消された予約資料が一覧で確認できること		
		雑誌一覧表示	648	雑誌の一覧表示機能があること		
			649	刊行頻度を表示可能であること		
			650	雑誌情報は、図書館で任意に修正可能であること		
			651	雑誌一覧から雑誌を選択することにより、その雑誌の所蔵一覧へ移り、さらに資料を選択することにより資料の詳細情報を表示し、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること		
			652	雑誌一覧から非表示とする雑誌タイトルを任意で設定できること		
		利用者登録情報変更	653	E-Mail、パスワードの登録内容の変更が行えること また、E-Mail変更時及び新規パスワード登録でのE-mail登録時は確認メールを送信し、記載されたURLにアクセスすること でE-mail変更を確定できること		
			654	WebOPACから利用者自身が利用者登録を行う際に、マイナンバーカードを利用者カードとして利用有無の希望登録が可能なこと		
			655	WebOPACから利用者自身が利用者登録を行うことができること		
			656	メールアドレスの変更時はメールアドレスフォーマットの確認をおこない、フォーマット不正の場合にはエラーメッセージが表示できること		
		利用者機能	657	予約時の予約受渡館の初期値を登録することができること		
			658	予約資料の選択はカート方式を採用し、複数冊を予約カートに登録し、1回の認証にて、複数冊の予約を行うことができること		
			659	予約カートは追加、削除を可能とすること		
			660	予約認証はカートに登録後、本予約実行時に、利用者番号、パスワードにより可能とすること		
			661	利用者認証は、利用者番号、パスワードにより可能とすること		
			662	利用者認証時に、利用停止・除籍予定の利用者のログインを制限できること		
		お知らせ	663	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること		
			664	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・おすすめ本のリストが表示でき、一覧を選択することにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること		
			665	利用者認証時に、有効期限日を過ぎている又は期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること		
			666	子ども向けのお知らせ・検索等の機能があること		
			667	資料詳細画面で、予約ができない書誌の場合は「予約受付」ボタンを非表示とし、予約不可理由をメッセージで表示できること		
			668	資料詳細画面の複本一覧表示にて、資料種別、保管場所、所蔵館、所在館名称の表示文字数を任意に設定できること		
			669	資料詳細画面にて、雑誌の最新刊号は予約受付ボタンを非表示とし、最新刊のため予約できないことを通知するメッセージが表示できること		
			670	WebOPACに表示するお知らせの期間を任意に設定できること		
			671	現在（データ抽出処理時点）の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
		統計処理	672	WebOPACのアクセス統計がとれること		
			673	WebOPACのページ別にアクセス統計をとることができること		
			674	アクセス統計は、期間指定により曜日、ページ毎の集計を行うことができること		
			675	アクセスログを端末種類（PC／スマートフォン等）で分類して集計出力することができること		
帳票・統計	帳票・統計	帳票全般	676	随時作成でき、日報、月報、年報はリアルタイムに処理可能であること また、日報は当日中に出力できること		
			677	各種統計帳票については、対象となる統計帳票、抽出条件、実行サイクルを設定する等により、印刷データを自動作成することができること 自動作成した印刷データは任意に参照でき、印刷することができること		
			678	基本的にA4サイズで統一していること		
			679	抽出条件、打ち出し順の選択の幅が広いこと		
			680	印字途中での中断、取消、保留、継続が選択できること また、利用者リストなど、大量（30,000件以上）のリスト出力を可能とすること		
			681	基本的に罫線付きであること		
			682	プレビュー機能で画面で確認できること		
		帳票	683	以下の帳票等が印字できること		
			684	貸出票		
			685	貸出資料一覧		
			686	予約者連絡表（返却）		
			687	利用者リスト		
			688	多重登録利用者リスト		
			689	団体利用者リスト		
			690	未利用利用者リスト		
			691	督促リスト		
			692	督促ハガキ		
			693	督促連絡依頼票		
			694	長期延滞資料リスト		
			695	資料検索結果図書一覧		
			696	資料検索結果図書目録		
			697	新刊選書リスト		
			698	発注済新刊選書リスト		
			699	注文リスト		
			700	雑誌受入れ予定リスト		
			701	受入れリスト		
			702	未納品リスト		
			703	新着資料リスト		
			704	新刊リスト		
			705	雑誌受入れリスト		
			706	予算執行状況リスト		
			707	発注金額集計リスト		
			708	受入れ金額集計リスト		
			709	図書書名目録		
			710	図書著者名目録		
			711	図書分類目録		
			712	図書件名目録		
			713	雑誌タイトルリスト		
			714	AVタイトル順目録		
			715	AV人名順目録		
			716	AV分類目録		
			717	AV件名目録		
			718	人名典拠リスト		
			719	出版者典拠リスト		
			720	件名典拠リスト		
			721	図書原簿		
			722	除籍予定リスト		
			723	雑誌一括除籍予定リスト		
			724	除籍リスト		
			725	除籍原簿		
			726	未利用資料リスト		
			727	蔵書点検エラーリスト		
			728	蔵書点検もれリスト		
			729	不明資料リスト		
			730	利用統計日報		
			731	利用統計月報		
			732	利用統計年報		
			733	相互貸借月報		
			734	相互貸借年報		
			735	曜日別利用統計年報		
			736	地区別利用登録者集計		
			737	地区別利用冊数		
			738	団体貸出年報		
			739	雑誌別貸出冊数集計		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応区分 可能○ 一部△ 不可×	対応△×の場合は代替案記入
			740	蔵書統計年報		
			741	受払年報		
			742	自由帳票では帳票の集計条件指定・改ページ条件指定や帳票出力項目の出力行・出力列指定ができること また指定した条件を保存し、再度同じ条件で帳票作成することができること		
			743	ベストリーダー		
			744	予約ベスト		
			745	AV利用状況リスト		
			746	雑誌別予約件数集計		
			747	貸出予約状況年報		
			748	広域利用統計		
			749	資料回送統計		
			750	蔵書点検発見資料リスト		
			751	分類別蔵書冊数集計		
			752	保管場所別蔵書冊数集計		
			753	特殊貸出統計		
			754	再発行利用者リスト		
			755	除籍利用者リスト		
			756	寄贈資料リスト		
			757	雑誌JANコードリスト		
			758	蔵書場所別種別統計		
			759	移動統計年報		
			760	移動統計月報		
			761	移動統計日報		
			762	地区別予約件数集計		
			763	予約在庫リスト		
			764	請求記号別貸出冊数集計		
			765	請求記号別予約冊数集計		
			766	地区別/バースワード登録集計		
			767	時間帯別利用統計		
			768	公共図書館調査票		
			769	コメント別利用者リスト		
			770	受取館別予約統計		
			771	雑誌タイトル別貸出ベスト		
			772	雑誌タイトル別統計		
W i f i 設置	W i f i 設置	W i f i 設置	773	必要十分のアクセスポイントを設け、指定したエリア全体に電波が到達するか		
			774	利用者が安心安全、快適に接続できるものであるか		
			775	図書館がSSIDやPWを指定できるか		
			776	周波数は、2.4GHz 帯及び 5GHz 帯の両方に対応しているか		
			777	規格は、IEEE802.11ax に対応しているか		
			778	WPA2(PSK)にて暗号化された通信とすること		
			779	1 台当たりの同時接続台数は、30台以上の能力をもつこと		
			780	アクセスポイントの利用時間制限ができること。また、図書館にて容易に設定変更ができるか		
			781	災害等有事の際、認証をはじめとした各制限を図書館にて容易に解除実施できるか		
			782	ネットワーク障害の原因となりうる異常な負荷が発生しないよう、利用者端末単位での接続管理が可能であるか		
			783	設置場所の景観を損なわないように設置できるか		
			784	使用するLANケーブルはCAT 6 以上とする		